

# 安全・安心 誰もが笑顔で暮らせる まちづくりを目指して

～河芸町千里ヶ丘地区の取り組みから～

## 千里きっさ「わらい」 笑顔 あふれる場

ボランティアで参加している中学生を見て、「子どもは、ええな。元気やわ」とにっこり。笑顔で過ごす人がたくさんおられました。その中の一人の高齢の人が、「自分も他人も心が明るくなる。笑顔があるから」と、伝えてくれました。



## 西千里なごやかサロン「フレンズ」 気持ちと気持ちがつながる場

年4回の開催ということで、訪れる人に季節を感じてもらえるメニュー作りを心掛けているそうです。活動に参加している小学生が、「おじいちゃん、おばあちゃんにありがとうって言われるとこっちが元気になる。うれしくてまた来たいという気持ちになる」と語ってくれました。



## シリーズ 人ひと

かしば ひろし  
柏葉 博さん  
千里ヶ丘地区自治会  
連合会会長



今回は、河芸町千里ヶ丘地区で、コミュニティ喫茶を開設し、住民・各種団体などと連携しながら「子どもからお年寄りまで安全・安心・誰もが笑顔で暮らせるまち」の実現に向けて取り組みを進めている柏葉さんにお話を伺いました。

このコミュニティ喫茶をつくらうとしたきっかけを教えてください。

平成18年に千里ヶ丘団地の集合住宅で、高齢者の孤独・孤立死が2件発生しました。「何とかせなあかん」「ほっておけやん」と強い危機感を感じました。「住民には何ができるのか？」を地域住民の間で話し合い、顔と顔を合わせて話し合える場、住民が活躍できる場をつくらうとなりました。千里きっさ「わらい」の開設をきっかけにその後、西千里なごやかサロン「フレンズ」、千里キッサ「つどい」と地域に広がっていきました。

活動で大切にしていることは何ですか？

自分たちができることをまず、一つやってみるということを大切に活動しています。「何かしてくれる」「何かしてあげる」ではなく、「自分はこ